

# インテリア建材 アウトセット引戸

## 施工要領書

このたびは、弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。  
商品の組み立ておよび取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

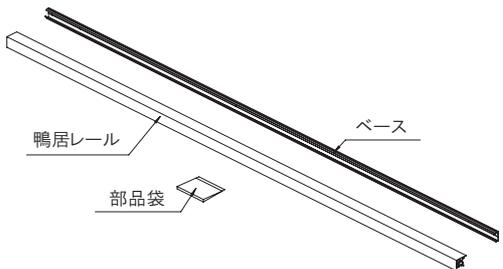
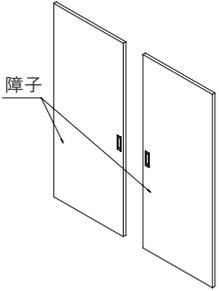
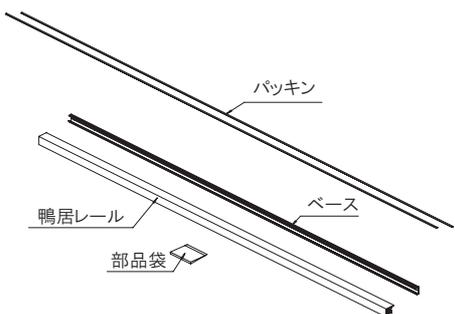
### ① 組み立て・取り付け上の注意事項

ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。  
施工にあたって必ずお守りください。

- ・アウトセット引戸以外への転用および改造は行なわないでください。
- ・指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ・ねじ止め・釘打ち箇所は指定してあるねじ釘を全て確実に止めてください。
- ・石こうボードなどで補強材(躯体)が見えない場合は、工務店さまに補強材位置及び固定方法を確認してください。さらに針刺しなどでねじ止め位置に補強材の中心があることを確認してください。
- ・リフォームなどの場合、補強材(躯体)位置が石こうボードで確認できない場合は、石こうボードなどをはがして補強材位置を確認してください。
- ・補強材(躯体)は硬い木材で、虫食いやくされのしない24×60mm以上のものを使用し、柱・間柱などに必ず固定してください。
- ・無目枠などを取り付ける場合、無目枠と障子とのチリ寸法は7mm以上としてください。
- ・下地材は、必ず下穴をあけてから、ねじを固定してください。
- ・石こうボードの表側には、補強材(躯体)は取り付けしないでください。
- ・本体へは、もたれかからないでください。本体が外れ、転倒してケガの原因になります。
- ・組み立て、取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと、開閉動作が正常に行なうことができることおよび使用上の不具合がないか確認してください。
- ・引渡前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

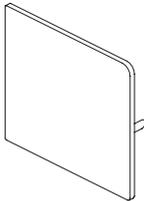
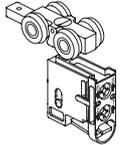
### ② 梱包内容の確認

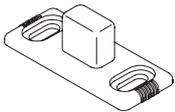
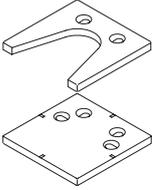
- ・開梱時に種類と数量を確認してください。(部品袋の内容にもご注意ください)
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または弊社までご連絡ください。

	障子	枠
片引戸	 <p>・1枚梱包</p>	
引分戸	 <p>・1枚梱包×2</p>	

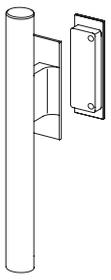
● 枠部品袋詳細

部品	枠セット(同梱)				
	ベース取り付け用ねじ	鴨居レール取り付け用ねじ	ストッパー取り付け用ねじ	レールガイド取り付け用ねじ	エンドキャップ取り付け用ねじ
タイプ	 木ねじ丸 4.1×50×7.6	 小ねじ皿 4×10×7	 小ねじなべ 4×16×7	 タッピン1種トラス (ブロンズ色) 3.5×16×8	 小ねじなべ 4×16×7
片引戸	9本	6本	2本	2本	2本
引分戸	17本	10本		4本	

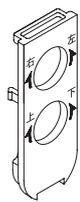
部品	枠セット(同梱)		
	ストッパー(上)	エンドキャップ	吊り車
タイプ			
片引戸	2個	左右各1個	2個
引分戸			4個

部品	枠セット(同梱)			
	レールガイド	床付けストッパー	パッキン	施工要領書
タイプ		 タッピン1種皿 3×16×6.4 ①クロメート品×2本 ②ねじ頭塗装品×2本		
片引戸	1個	1セット	—	1冊
引分戸	2個	2セット	2本	

● オプション 大型引手

大型引手(片側)

皿小ねじM5×16 2本

● 本体部品袋詳細

部品	カバー	説明チラシ
タイプ		
片引戸	2個	1枚
引分戸	4個	

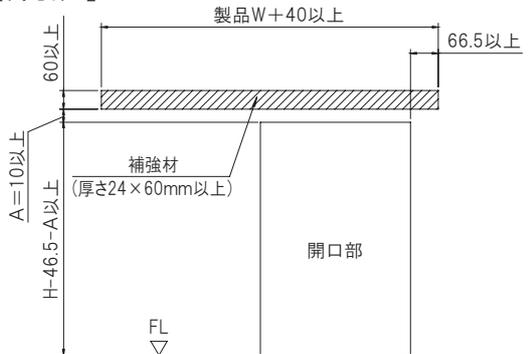
### ③ 据付け前の準備

下地材取り付け用の補強材(躯体)を下図に従って入れてください。

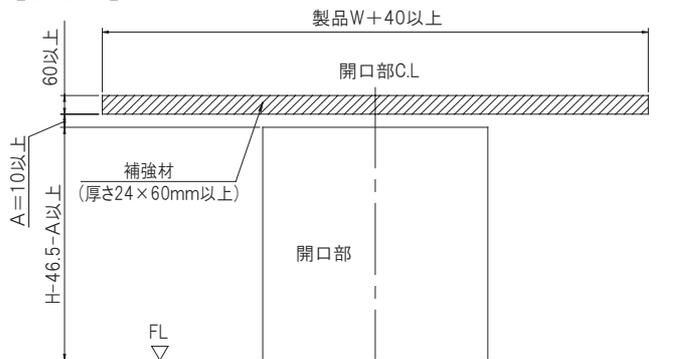
- ・指定の位置に、厚さ24×60mm以上の硬木の補強材(躯体)を設置してください。
- ・補強材(躯体)には、虫食い・くされなどのないものを使用してください。
- ・補強材(躯体)は、必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
- ・開口寸法は、壁を仕上げた状態の寸法としてください。
- ・補強材がないと、レール等の取り付け等に十分なねじ保持力が得られません。
- ・補強材(躯体)の取り付け位置は、開口の仕上げ方法により異なります。詳細は基準図参照の上、適切な位置に取り付けてください。

#### ●補強材(躯体)取り付け位置

##### 【片引戸】



##### 【引分戸】

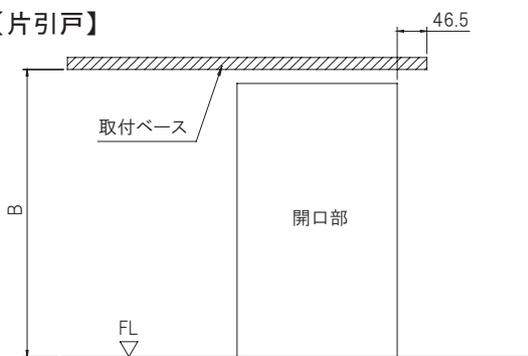


### ベースの取り付け

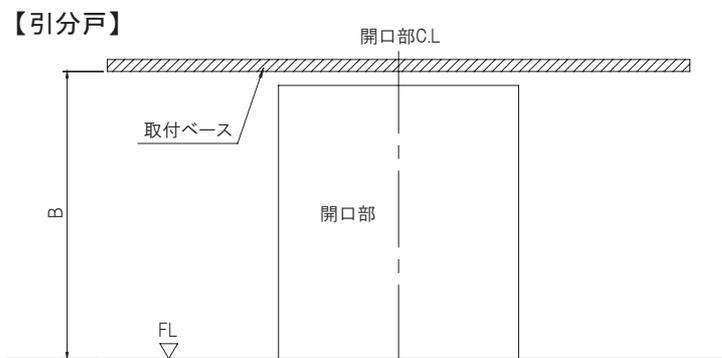
ベースを指定の取り付け位置に、ベース取り付け用ねじ(丸木ねじ4.1×50×7.6)で水平に取り付けてください。

- ・ベースの取り付け高さは、下表を参考にしてください。
- ・引分戸の場合、W方向の位置は開口中心とベース中心を合わせてください。
- ・必ず下地材に下穴をあけてから、ねじを固定してください。下穴をあけないと基材が割れるおそれがあります。
- ・ベースは水平に取り付けてください。水平に取り付けてない場合、本体が自然に開閉する原因となります。

##### 【片引戸】

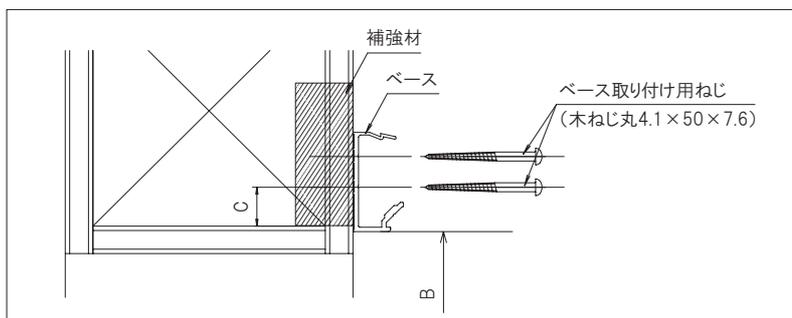


##### 【引分戸】



H呼称	H	SH	B
H20	2052.5	2000	2006
H23	2313.5	2261	2267
H特寸	SH+52.5	SH	SH+6

※C寸法は、20mm以上確保してください。また、ベース取り付け用ねじは必ず補強材に打ち込んでください。又、ベースの上に天井がある場合、ベースと天井の隙間が5mm以上ある事を確認してください。

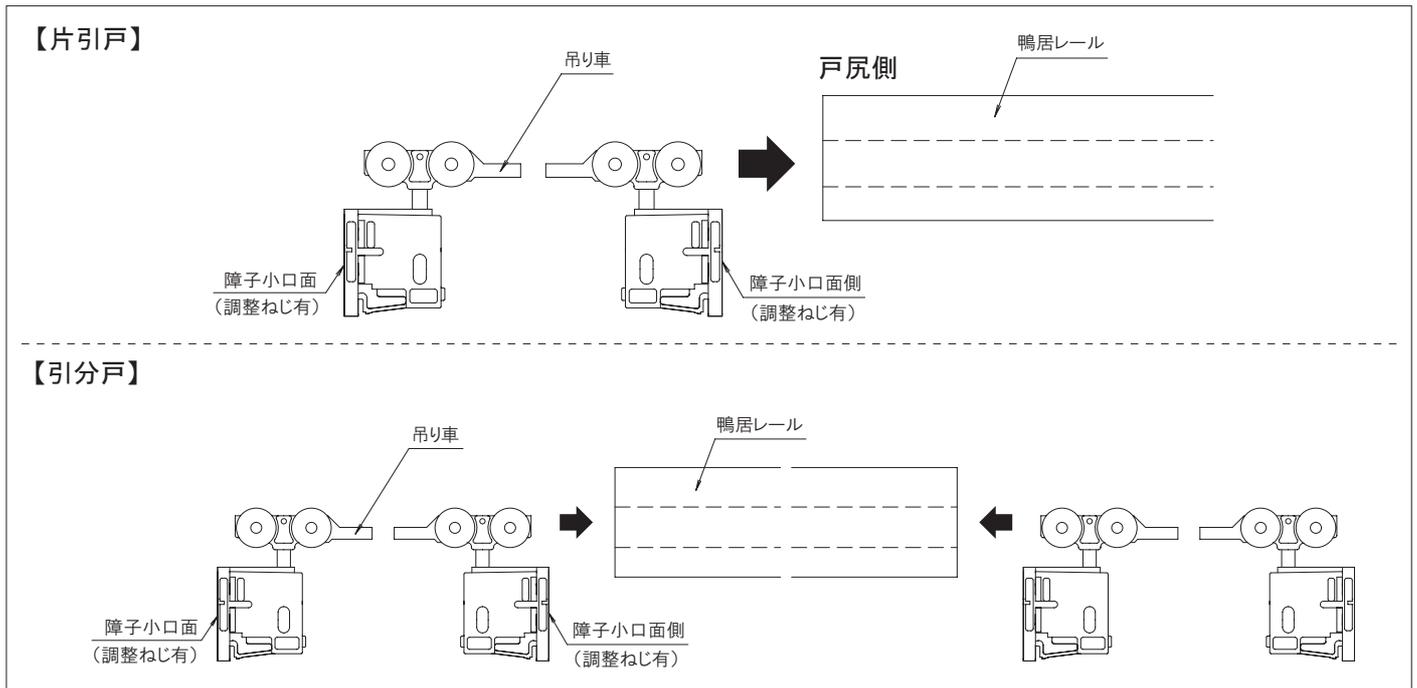


## 鴨居レールの組み立て

①吊り車を鴨居レールへ入れてください。

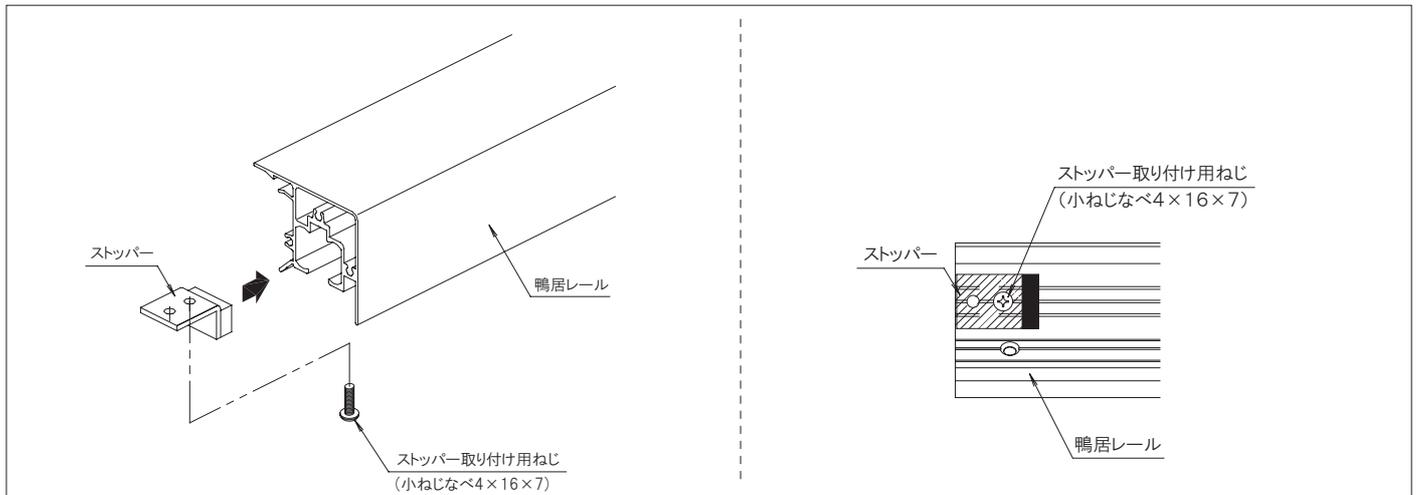
※吊り車には向きがありますので注意してください。

※片引戸の場合、戸尻側より入れてください。(戸先側にはブレーキがあります)

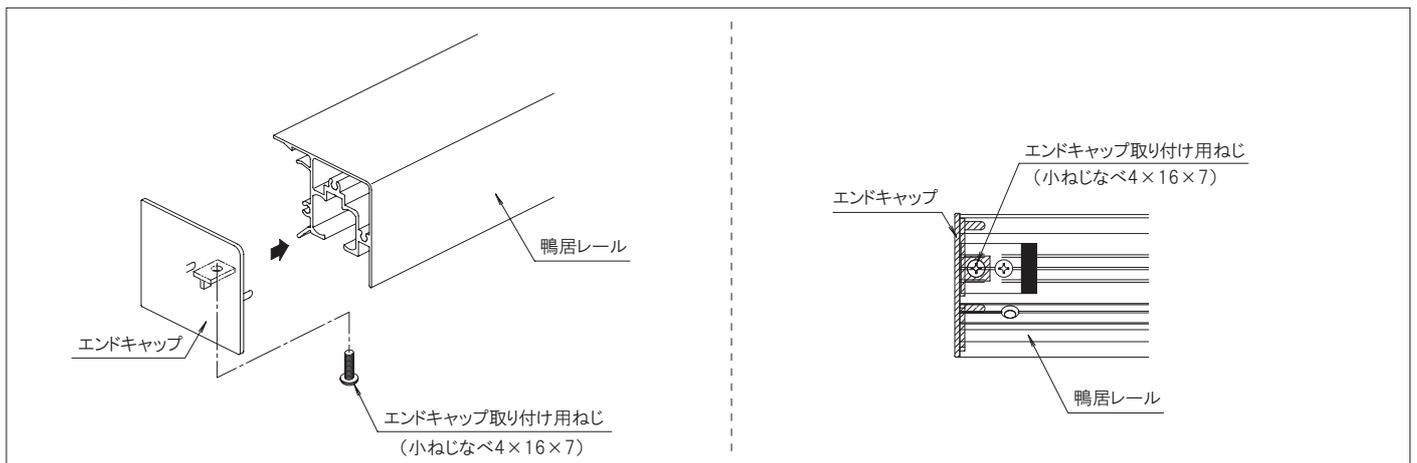


②ストッパーを鴨居レール両端にストッパー取り付け用ねじ(小ねじなべ4×16×7)でそれぞれ固定してください。

※取り付けの際、ストッパー内側の穴のみを使用してください。外側の穴はエンドキャップ取り付け時に使用します。



③エンドキャップをレール両端にエンドキャップ取り付け用ねじ(小ねじなべ4×16×7)でストッパーと共締めし、固定してください。

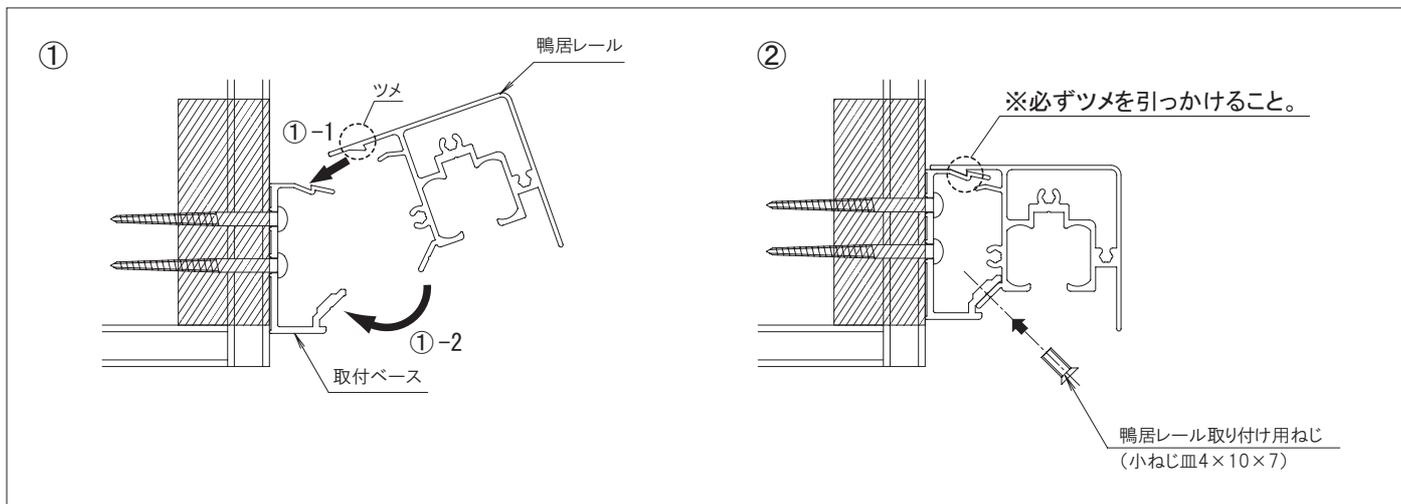


## ⑥ 鴨居レールの取り付け

① ベースに鴨居レールのツメをかけてから下方方向に回転させてください。

② 鴨居レール取り付け用ねじ(小ねじ皿4×10×7)で固定してください。

- 鴨居レールをはめ込む際、ベース上部に鴨居レールのツメがかかっているのを確認してから、ねじで固定してください。障子の吊り込み時にレールの変形、脱落するおそれがあります。
- 取り付けの際、吊り車の向きが変わるおそれがありますので注意してください。レール取り付け後は、吊り車の向きは変えられません。



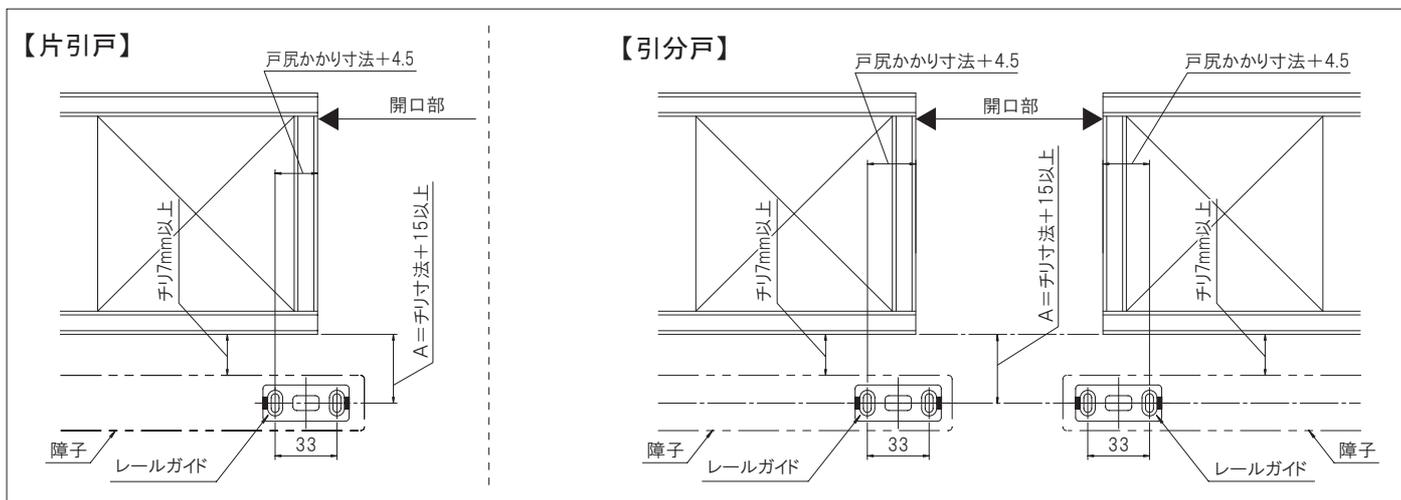
## ⑦ レールガイドの取り付け

・レールガイドを下図の位置にレールガイド取り付け用ねじ(タッピン1種トラス3.5×16×8)で取り付けてください。

※レールガイドの取り付け位置は、開口の仕上げ方法により異なります。詳細は、基準図参照の上、適切な位置に取り付けてください。

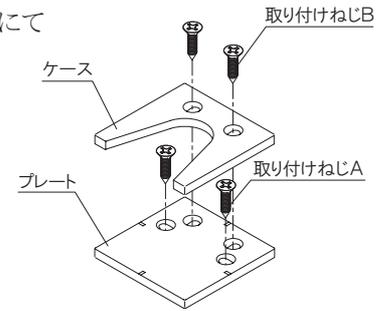
※躯体(無目枠)と障子とのチリは、7mm以上としてください。

※レールを躯体に埋め込んだ場合、A寸法=37-埋め込み寸法



## ⑧ 床付けストッパーの取り付け

- ①床付けストッパー（プレート）を取り付け用ねじA（タッピン1種皿3×16×6.4:クロメート品）にて取り付けてください。
- ②床付けストッパー（ケース）を床付けストッパー取り付け用ねじB（タッピン1種皿3×16×6.4:ねじ頭塗装品）にて取り付けてください。

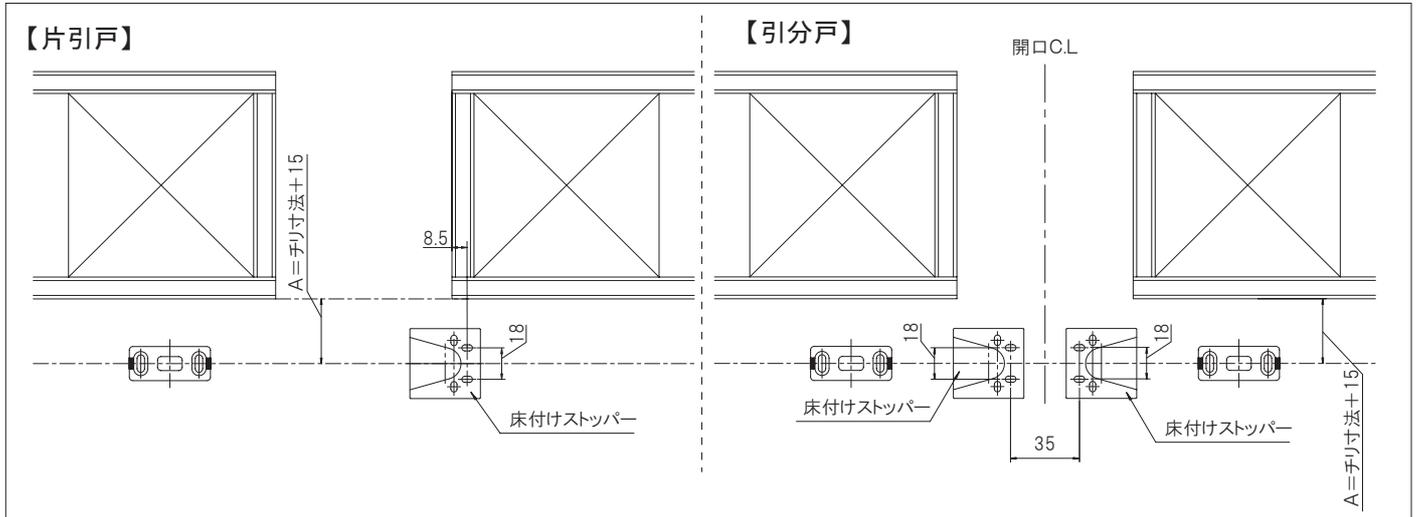


※床付けストッパーの取り付け位置は、開口の仕上げ方法により異なります。

詳細は、基準図参照の上、適切な位置に取り付けてください。

※躯体（無目枠）と障子とのチリは、7mm以上としてください。

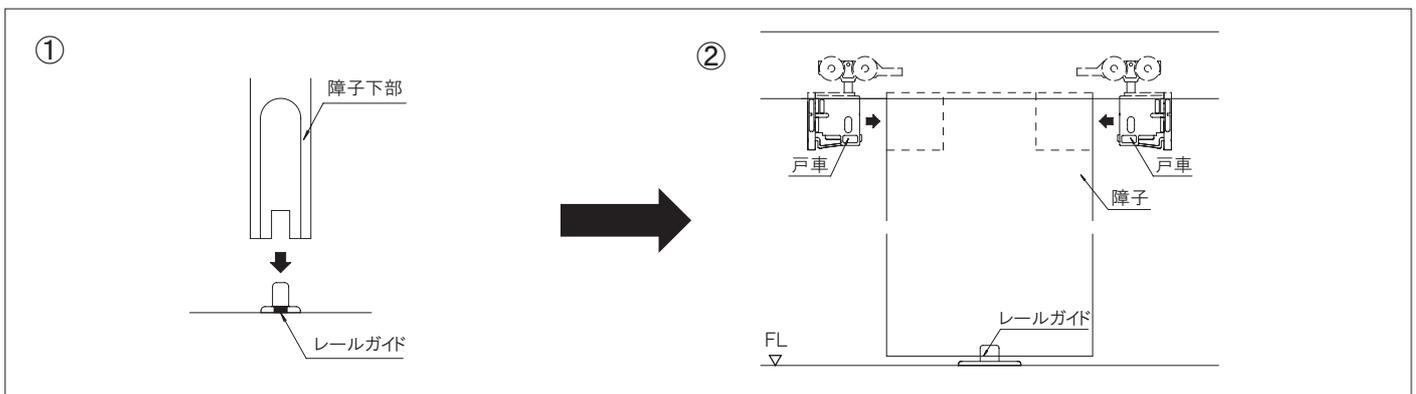
※レールを躯体に埋め込んだ場合、A寸法=37-埋め込み寸法



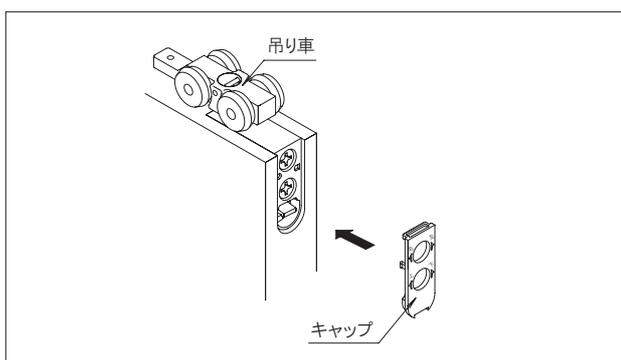
## 障子の吊り込み

- ①障子を持ち上げて、本体下部の溝にレールガイドを差し込んでください。
- ②片側ずつ吊り車を障子に水平に押し込み、カチッと音がするまで押し込んでください。

➡ 押し込み後、吊り車を引張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと、障子が落下するおそれがあります。



- ③各吊り車にキャップをはめ込んでください。



## 障子の建て付け調整

障子の吊り車には、上下方向及び前後方向の調整機能が付いています。

### 【上下調整: ±2.5mm】

プラスドライバーで吊り車下部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左へ回すと障子が下がります。

※床面と障子下部とのチリは7mmが標準です。

※障子を下げすぎるとレールガイド部と障子が当たりますので下げすぎないでください。

### 【前後調整: ±2mm】

前後調整は壁(無目枠)と障子のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ: 7mm)に実施してください。

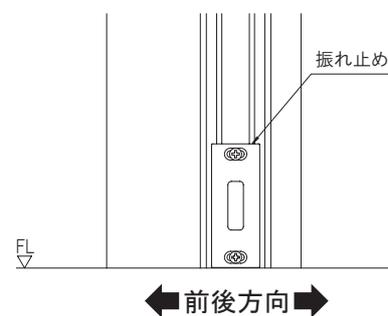
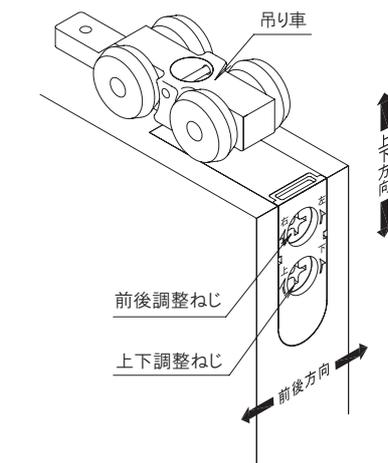
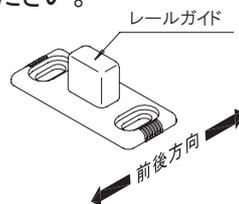
プラスドライバーで吊り車上部の調整ねじを右に回すと左に動き、左に回すと右に動きます。

※前後調整した場合は、障子が常に垂直になるようにレールガイドの調整をしてください。調整しないと開閉操作が重くなる場合があります。

### 【戸先側振れ止め・レールガイドの調整方法】

2ヶ所のねじをゆるめ、左右に動かした後、ねじを締めて固定してください。

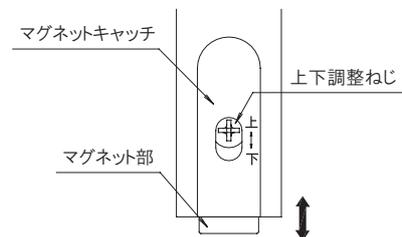
※レールガイドの調整は、障子を取り外して行ってください。



### 【マグネットキャッチの調整方法】

上下調整ねじをゆるめ、上下に動かした後ねじを締めて固定してください。

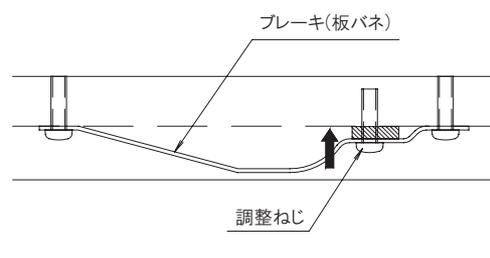
※上下調整した場合は、障子下部のマグネットキャッチを調整してください。



### ●ブレーキの調整

ブレーキの利きが強い場合、調整ねじを締めることにより弱くすることができます。

ブレーキは鴨居レール内の戸先側にあります。

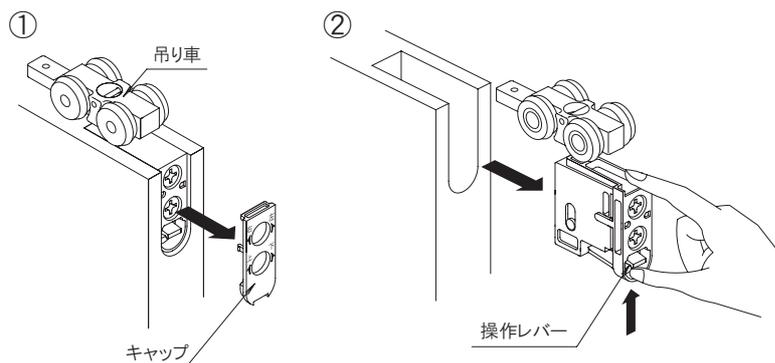


### ●障子の取り外し方

①吊り車にはめ込んである、キャップを外してください。

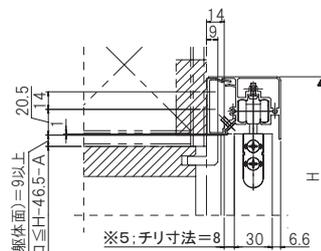
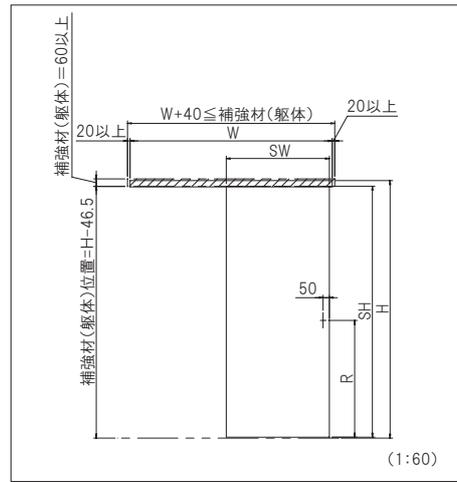
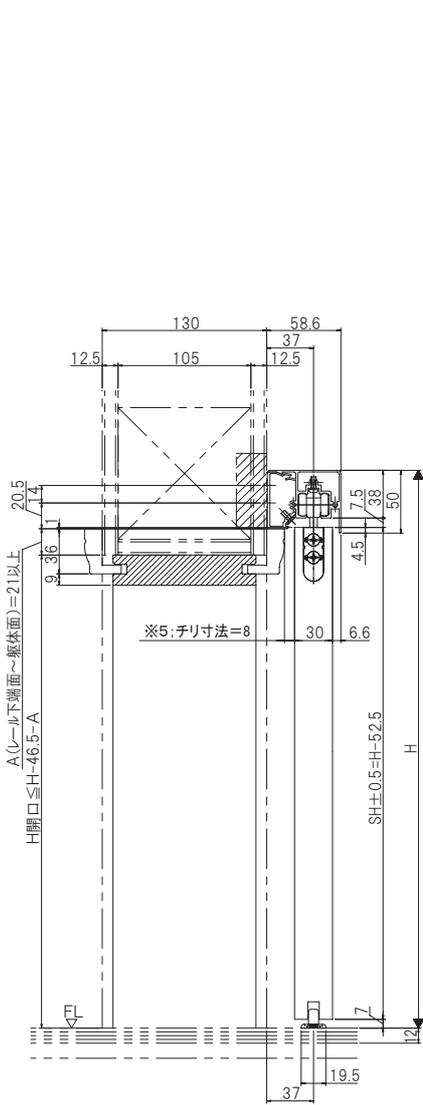
②障子を手で支えてから吊り車の上部と操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。次に吊り車を本体より引き抜き取り外します。

※取り外しがやりにくい場合は、マイナスドライバー等を使用して取り外してください。

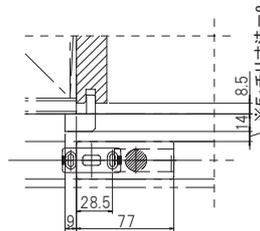




■アウトセット引戸(片引戸)無目枠納め ケーシング付



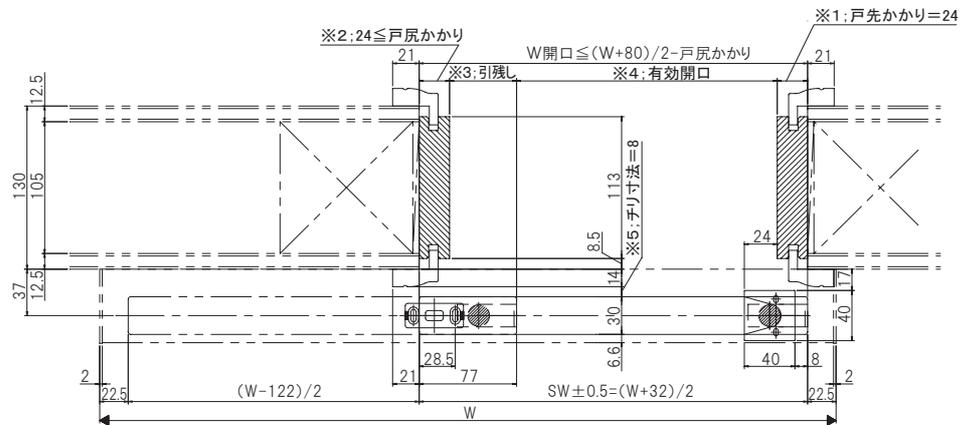
L型ケーシング(縦断面)



L型ケーシング(横断面)

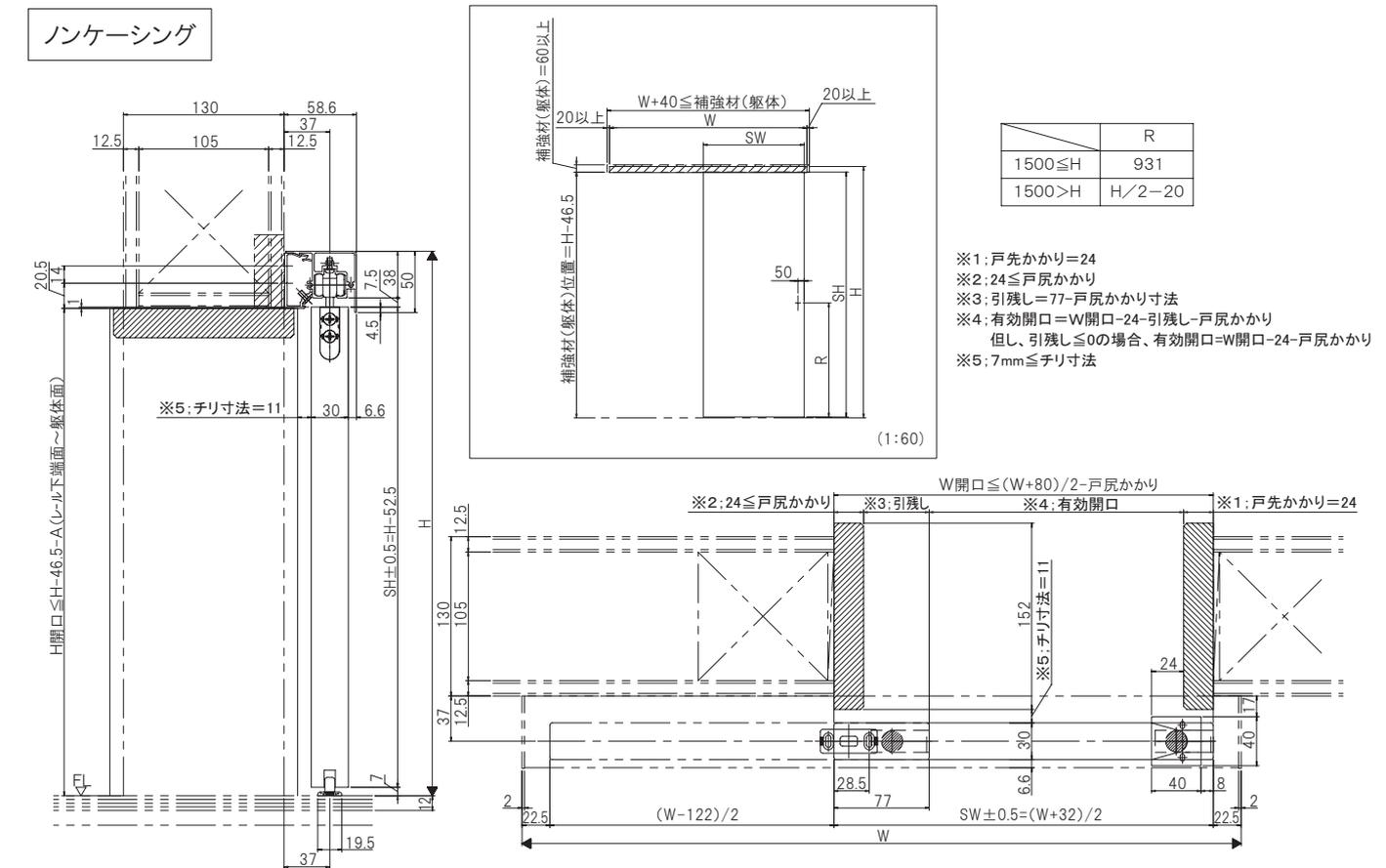
	R
1500≦H	931
1500>H	H/2-20

- ※1:戸先かかり=24
- ※2:24≦戸尻かかり
- ※3:引残し=77-戸尻かかり寸法
- ※4:有効開口=W開口-24-引残し-戸尻かかり  
但し、引残し≦0の場合、有効開口=W開口-24-戸尻かかり
- ※5:7mm≦チリ寸法

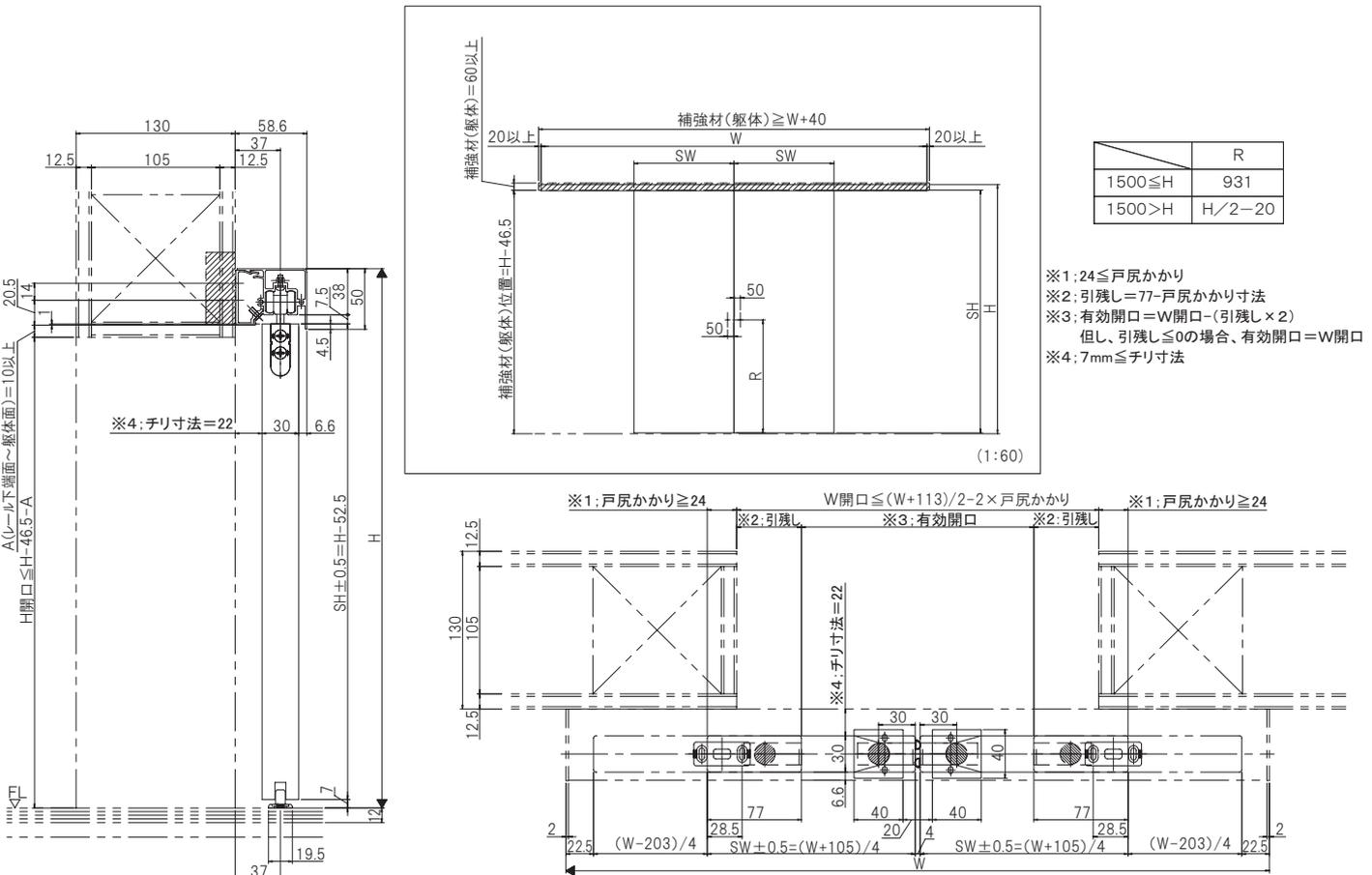


■アウトセット引戸(片引戸)無目枠納め

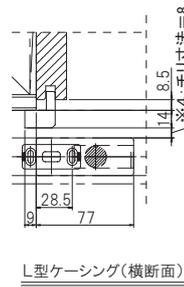
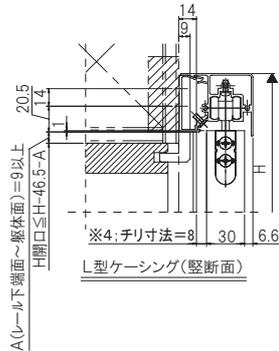
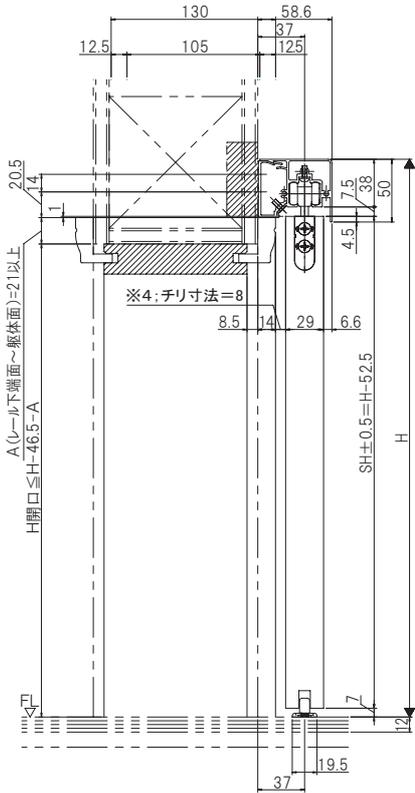
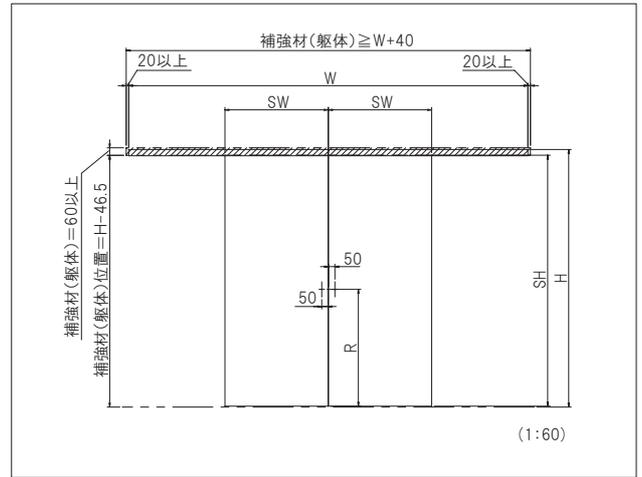
ハンケーシング



■アウトセット引戸(引分戸)クロス納め

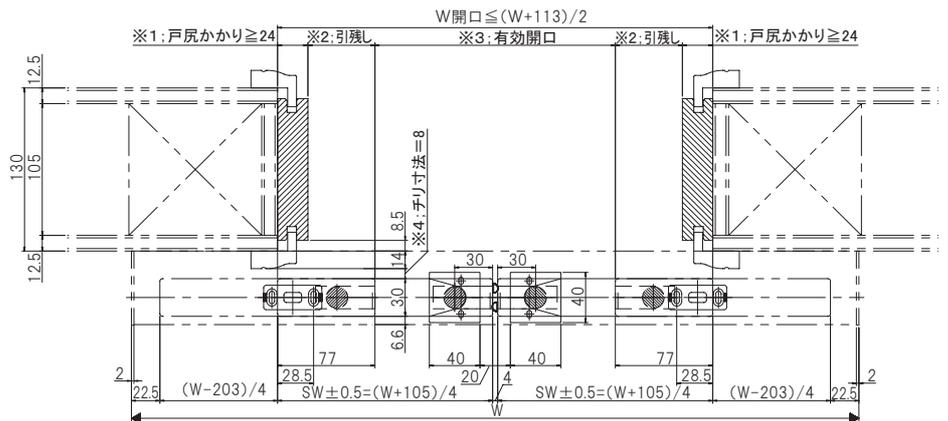


■アウトセット引戸(引分戸)無目枠納め ケーシング

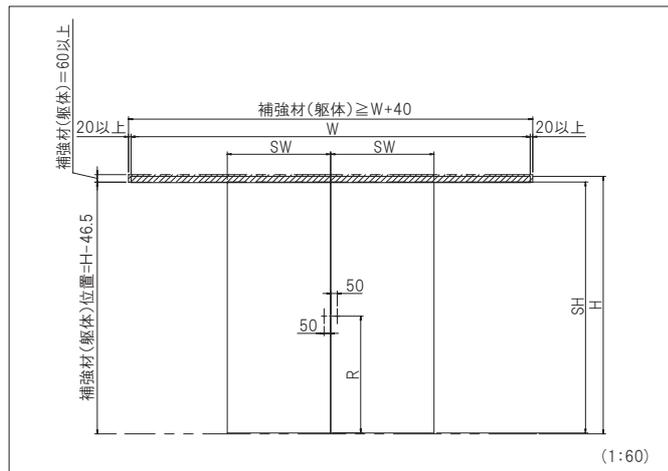
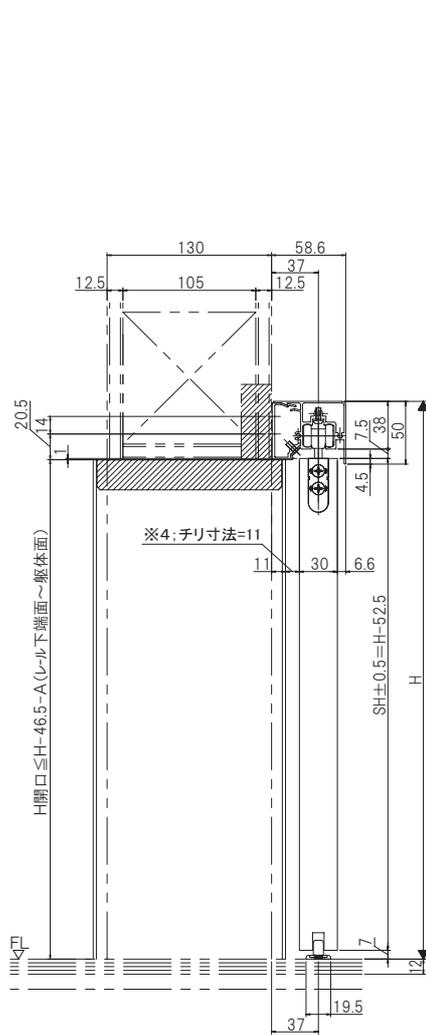


	R
$1500 \leq H$	931
$1500 > H$	$H/2-20$

- ※1:  $24 \leq$  戸尻かかり
- ※2: 引残し =  $77 -$  戸尻かかり寸法
- ※3: 有効開口 =  $W$ 開口  $- 2 \times$  (尻かかり + 引残し)  
但し、引残し  $\leq 0$  の場合、有効開口 =  $W$ 開口  $-$  (戸尻かかり  $\times 2$ )
- ※4:  $7\text{mm} \leq$  チリ寸法

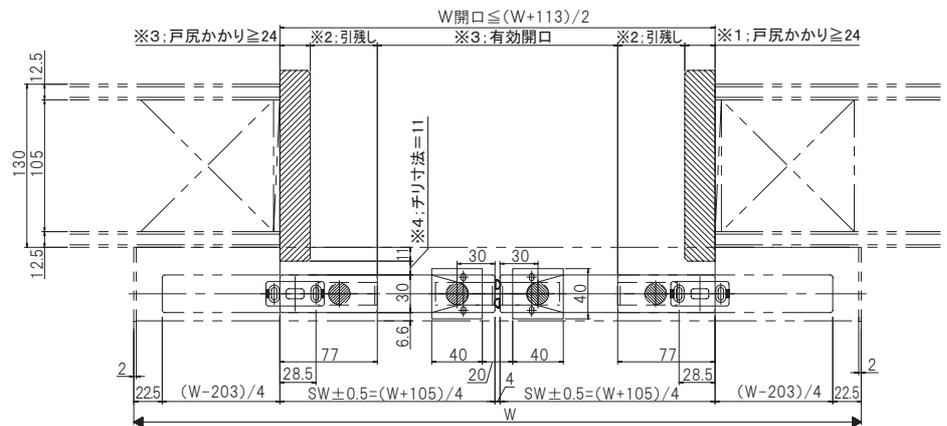


■アウトセット引戸(引分戸)無目枠納め **ノンケーシング**



	R
1500 ≤ H	931
1500 > H	H/2 - 20

- ※1: 24 ≤ 戸尻かかり
- ※2: 引残し = 77 - 戸尻かかり寸法
- ※3: 有効開口 = W開口 - 2 × (戸尻かかり + 引残し)  
但し、引残し ≤ 0 の場合、有効開口 = W開口 - (戸尻かかり × 2)
- ※4: 7mm ≤ チリ寸法



**取り付け終了後の確認**

■取り付けが完了しましたら、下記の点について確認してください。

取り付けが完了しましたら、本製品が他の現場工事によって破損しないよう梱包資材などを利用して養生しておいてください。

ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、捨てたり燃やしたりせず、回収業者に引き取っていただくようお願いいたします。